

新富町 議会だより

6月定例会

- 臨時会報告
- 定例会報告
- 一般質問（8人が登壇）
- 議案等の審議結果
- 委員会報告（基地対策特別委員会）
- 特集（屋外運動場建設工事）
- 特集（デジタル社会に向けて）
- 町民インタビュー（Vol.12）

116号

2022年6月

令和4年第2回臨時会報告

議案第23号

令和4年度一般会計補正予算(第1回)

3,099万9千円増額→**総額134億5,745万7千円**

選挙ポスター掲示板(資材高騰による増額)	20万3千円
新型コロナウイルスワクチン追加接種費用	3,079万6千円

承認第5号

専決処分の承認を求めることについて※専決日 令和4年3月25日

令和3年度一般会計補正予算(第17回)

9億171万1千円減額→**総額134億4,490万4千円**

(各事務事業確定に伴う増減補正です)

同意案第1号

教育委員会委員の任命について

伊藤寛人氏(八幡地区) ※経歴:消防団第10部部長、商工会青年部部長、他

令和4年第2回臨時会(5月6日) 議案等の審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第23号	令和4年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第24号	新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	全員
承認 第5号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
承認 第6号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度新富町国民健康保険特別会計補正予算)	承認	全員
承認 第7号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算)	承認	全員
承認 第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算)	承認	全員
承認 第9号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算)	承認	全員
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて(新富町税条例の一部を改正する条例)	承認	全員
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて(新富町介護保険条例の一部を改正する条例)	承認	全員
同意案第1号	教育委員会委員の任命について	同意	全員

令和4年（第3回） 新富町議会6月定例会報告

令和4年6月2日～15日の14日間で開催。以下は主な事業と説明です。

※議案一覧と採決状況は11ページに掲載

議案第25号 令和4年度一般会計補正予算(第3回)

歳入歳出それぞれ5億6,403万5千円を増額し、予算の総額は140億3,349万2千円となりました。

主な事業と予算

上新田地区町民サービスコーナー移転事業 ※新規事業 415万5千円(一般) 上新田地域の利便性向上を目的とした、上新田地区町民サービスコーナーの上新田郵便局内移転にかかる経費及び解体工事。	次世代に伝えつなげる事業応援補助金 ※新規事業 175万円(一般) 昨年度までのまちづくり補助金を見直し、歴史・自然の保存活動や地域住民の手により長年継続されてきた催しなど町が継続して支援していく必要がある事業への補助。
地域おこしインターン事業 ※新規事業 436万5千円(一般) 地域おこし協力隊の応募検討者を対象に、最長3ヶ月間協力隊業務を体験することで、協力隊の応募及び定住定着につなげる。	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 ※新規事業 1,486万円(国) 低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金。
三納代北地区直売所建築実施設計業務委託外 ※新規事業 3,910万円 1,950万円(国) 1,960万円(基金) 三納代北地区へ直売所を建築するための設計業務委託及び駐車場等の周辺整備の測量設計業務委託を実施する。	しんとみ応援消費大作戦事業補助金 ※新規事業 4,620万円 1,879万8千円(国) 2,740万2千円(基金) 町内における消費喚起を目的として「Sあぷ！しんとみ生活充実アプリ」を活用し、クーポンを配布する。
新規就農者育成総合対策事業補助金 ※新規事業 990万円(県) 新規就農者に対しての資金の交付及び導入する農業設備への補助。	公共施設予約システム導入委託 ※新規事業 397万4千円(一般) 体育館や公民館など施設利用予約をインターネット上で行えるシステムを導入する。

承認第12号 専決処分の承認を求めることについて 令和4年度一般会計補正予算(第2回)

新富町施設園芸農家等緊急支援給付金 **1,200万円(基金)**

コロナ禍における原油高騰により打撃を受けた施設園芸農家等へ支援するための緊急支援給付金。



農家への支援と対策は

関係機関と協議していく

問 飼料・燃料・肥料・農業資材等の高騰に対する農家の支援と対策は。

町長 昨年末、施設園芸等に使
用するA重油等の対応策とし
て緊急支援給付金5万円の補
助を実施した。令和4年度に
おいても給付金5万円の予算
措置を実施。今後、肥料・飼料
については、国の動向を注視
していく。

問 農業後継者の現状と今後の
取り組みは。

町長 本町では農業後継者確保
のため県普及センター、JA、
アグリベースと連携し就農相
談を実施。研修期間を終了し
た新規就農者に空きハウスを
確保しながら産地パワーアッ



町内にあるバイオマス
プラント

プ事業や畜産クラスター事業
などを活用し、生産規模拡大
に取り組む生産者の支援を行
っている。農業者の高齢化に
伴い離農者の増加が予想され、
施設や農業技術の継承を実施
したい。

問 バイオマス消化液の活用に
ついて。

町長 協議会を設置し調査研究
しながら対応していきたい。

婚活について

問 本町の独身者の現状と対応
策について。

町長 本町における独身者は令
和2年度の国勢調査で、未婚
者が20代865人、30代46
5人、40代427人となってい
る。現在は婚活の取り組み
を県全体で行い、県が県商工
会議所に委託し、「みやざき結
婚センター」を設置している。
本町でも広報誌等でこの取り
組みを紹介していきたい。

温泉施設の建替えについて

問 防災対応の拠点となる温泉
施設建設はできないか。

町長 温泉の建替えの計画は今
のところはない。今後、施設再
建に有利な補助事業や民間活
力の導入など、建替えができ
るような情報を収集し、適宜
判断していく。防災拠点や、多
目的な機能を付加することな
ども検討していく。

基地対策について

問 告示後住宅の防音工事の現
況と今後の進め方は。

町長 国が示した第一種区域内
における80W以上の区域で
平成5年7月2日から平成
15年8月29日までに建設さ
れた、防音工事が行われてい
ない住宅が対象。業者の処理
能力も勘案したうえで所要の
予算の確保に努めながら、告
示後住宅の防音工事を進めて
いく考えであると伺っている。

問 基地周辺の道路で、特に十
文字から新田原基地までの歩
道整備と排水対策や、防災拠
点と指定されている基地に通
じる一ッ瀬橋の整備を早急に
すべきではないか。

町長 基地周辺の道路整備につ
いては、町民の日常利用や非
常時でも安心安全の確保がで
きるよう取り組んでいく。一
ッ瀬橋の整備については県に
強く要望していく。



問町内事業者にミライIDを活用した割引制度のお願いや普及する考えはないか。

町長町長大事なのは普及だと思うので、しっかり対応していく。

問障がいのある方への周知の考えは。

町長手帳とアプリと二つ所持し、用途に合わせ気兼ねなくスムーズに必要なサービスを受けられるのが可能である。あらゆる方法で広報周知していく。

まつうら み お
松浦美緒議員

町長

デジタル障がい者手帳アプリ「ミライID」の導入は

大変よい提案だと思う

積極的に取り組んでいく

問通学路や交通事故多発か所や公園への防犯カメラ設置の考えは。

町長過去に河川の監視カメラが捜索に役に立ったこともあることから、今後、町民の理解を求めながら設置に向け検討していきたい。

問防災教育や訓練の開催地域格差を埋めていくため、今後どのように推進していくのか。

町長地域防災組織が全然足りていないのが現状である。コロナ禍で中止していた防災講話を今後、防災士や防災士ネットワーク等に協力をいただきながら再開していきたい。

命を守る地域づくりについて

問令和2年3月発行の防災マップは配布だけに終わっているのではないか。防災マップを活用したマイタイムライン・マイハザードマップ講習会を開催し町民の意識向上が大事と思うがどのように考えているのか。

町長大変大事なことと思う。今までの防災意識の中で一番足りなかったものは時間軸である。体制だけ決めて終わっている。町民の皆さんに具体的にストーリー性をもって避難行動を取っていく意識向上の為にタイムライン講習会を開催していきたい。

ごみ対策について

問食品ロス削減と生ごみ減量化について伺う。

町長令和3年5月から産官学連携協定を締結し、45世帯のモニターによる生ごみ処理機で乾燥させた生ごみを堆肥化する実験を令和3年11月からスタートしている。

問モニター自身の、生ごみ量等の計算を行い、廃棄物の発生状況を確認することで、食品ロスをはじめとする、ごみ減量化へ意識して取り組む行動が発生したと推察する。また水分が大半で重量のある生ごみの乾燥処理を行うことで、重量や容量も抑えることができるため、高齢者ごみ対策に効果があるとの回答を得られた。



↑乾燥された生ごみ ↑乾燥前の生ごみ
ごみ減量化につながるか



あまんせいろう
阿萬誠郎議員

带状疱疹ワクチン費用の 自己負担軽減は

町長
県内自治体の状況把握に努める

問 町内で過去2年間の罹患者数は。

町長 国民健康保険被保険者の情報に限るが、男性58名、女性95名、延べ153名の方が、医療機関で治療されている。



問 予防ワクチンの種類や1回当たりの接種費用は。

町長 生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があり、接種費用は、医療機関によって違うようだが、生ワクチンは8千円程度、不活化ワクチンは2万2千円程度、こちらは2回接種が必要で4万4千円程度の費用がかかるようだ。

問 带状疱疹予防ワクチン接種費用の自己負担の軽減はできないか。

町長 自己負担の軽減については、現在考えていない。今後は近隣市町村を含め、県内における自己負担軽減の状況把握に努めていく。



ワクチン費用は全額自己負担

町水道課と一ツ瀬水道 企業団との広域化は

問 一ツ瀬水道企業団との広域化に向けた経営統合等の検討は。

町長 経営統合に向けたスケジュールについては、令和8年度からの経営統合を目的に相互の事業擦り合わせ等、資料作成を進めている。



経営統合を目指す給水エリア

公設の浄化槽設置事業 の導入は

問 公共浄化槽等整備推進事業（市町村設置型）導入の考えは。

町長 現在、県内の勉強会や導入自治体への研修等行い、導入した場合の方法や諸問題等、情報収集を行っており、今後、本町にとって有益な手法を検討していきたい。



町民に有益な浄化槽
整備で環境保全

業務用スマホへの移行は

問 役場固定電話の老朽化に伴い、業務用スマートフォンに移行しては。

町長 現在コロナ禍における職場環境の改善策としてウェブ会議や在宅勤務を可能とするためのICTを活用したテレワークを順次導入。停電時にも通話できる固定電話のメリットも生かしながら、業務用スマートフォンを活用についても調査研究していく。



問 令和元年から3年までの学年別不登校傾向を含む、児童・生徒数の推移は。

教育長 令和元年度は小学校が7名、中学校が9名、令和2年度は小学校が2名、中学校が14名、令和3年度は小学校が11名、中学校が21名となっており、ここ3年で増えている状況にある。

問 令和2年から3年は倍に増えているが、考えられる要因は何か。

教育長 ゲーム依存による生活リズムの乱れ、人間関係、本人の環境に対する不安等が要因と思われるが、それらが複雑に絡み合っていると考えられる。

問 不登校に対して、町はどのような支援策を実施したのか。

教育長 県が配置しているスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、県警本部所属のスクールサポーターさらには、福祉課やいきいき健康課などの各部署と連携を密にして、お互いの情報を共有しながら、必要に応じて教育委員会が主導してケース会議や情報交換会を行っている。

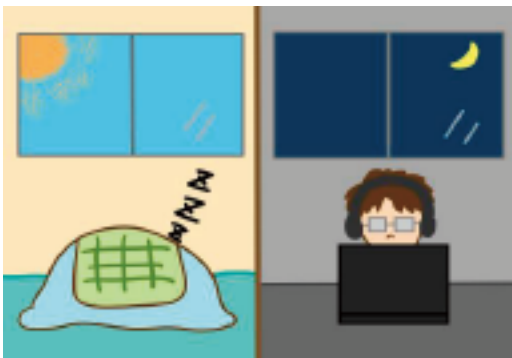
問 福祉課やいきいき健康課等の各部署との連携を密にしているところがあるが、具体的にはどのような事を行っているのか。

教育長 家庭環境や保護者の養育が不十分と思われる場合や、子ども自体が不安定になって

いる等の連絡を受けたら、福祉課、いきいき健康課、スクールソーシャルワーカー、学校関係者等とケース会議を行っている。

問 町単独でスクールソーシャルワーカーを配置する計画はないか。

教育長 現在、教育事務所から配属されたスクールソーシャルワーカーが毎週2、3日間新富町で活動している。今後は、対応する状況等を考慮しながら、必要に応じて検討していきたい。



不登校になる原因は多種多様である

コミュニティスクールへの取り組みは

問 今後、新富町でコミュニティスクールを取組む計画は。

教育長 取組む計画はある。どんな人選で行うのが良いのか、各学校の個性を伸ばしていくにはどのようにしたら良いか検討しながら進めていく。

問 コミュニティスクールについては、今年度に準備をして来年度から実施するのか。

教育長 夏頃を目途に教育事務所と連携をして学校関係者評価委員会に対してコミュニティスクールへの移行に向けた説明を行う。次に、今後の学校運営協議会にコミュニティスクールに則した体制づくりの為に、新たに加わる人選を行い、そして年度末までに規約を整理して学校運営協議会に名称を変え令和5年4月1日からコミュニティスクールとしての運営を開始する。



すしこういち 議員
図師孝一

町長

一ツ瀬川河口の美化活動に 補助金交付する考えは

環境省の補助事業で
対応できるか調査研究する

問 一ツ瀬川河口は県の管理となっているが、河川の衛生管理について町の考えを伺う。

町長 町としては、環境パトロールを実施しており、不法投棄への対応を行っている。また、現在のところ新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できていない状況だが、これまでも河川愛護運動の一環として、一ツ瀬川河口を含めた堤防沿いの清掃を町民の皆様とともに行ってきたところである。

問 漁協が定期的に美化活動を行う考えを持っているが、町の考えは。

町長 漁協に限らず、定期的な美化活動を行う団体に対して

は、町としても積極的に収集運搬や処理のサポートを行っていききたい。



生い茂る草の中に
たくさんゴミが

問 漁協の美化活動に対して、補助金等を交付する考えはないか。

町長 補助金交付については、現在のところ町の補助金制度はないが、今年度から環境省の補助事業である「宮崎県海岸漂着物等地域対策推進事業」のなかに一ツ瀬川水系が事業対象範囲に含まれたようなので、今後、事業の詳細等について調査研究していく。



「基腐病」被害の拡大が懸念されている

甘藷農家の疫病対策は

問 国の対策、県の対策、町独自の対策は。

町長 国・県の対策は、基腐病の発生した農家が行う、残渣処理、薬剤及び苗の購入費等の資材費に対して2分の1を助成している。町としては、県の普及センターと連携し、苗や芋本体の罹病検査等の実施、圃場の衛生管理の周知、作付け圃場調査などを実施し、病気の拡大防止に努めている。

宮崎交通の運行について

問 周辺市町村との協議はされているのか。

町長 路線バスを含む「旅客自動車運送事業」については、「道路運送法により国の認可を受ける事業となっており、その認可にあたっては、「事業として採算性がない路線」について、自治体が積極的に関与する場合に事業認可を受けることができるようになっていく。その審議を行う場が「地域公共交通会議」であり、この会議に国・県・市町村、運行事業者が参画し、事業内容を協議している。本県においてはこの協議会が「宮崎県バス対策協議会」であり、本町はこのうちの宮崎地域分科会と西都地域分科会に参加している。この協議会や担当者会議等で、宮崎交通からの要望や、これを受けた宮崎県の考え方について検討してきたところである。



でくちきじゅうろう
出口喜重郎議員

町長

災害対応について 防災の準備状況は

5棟の防災倉庫を設置予定

問 災害に備えた防災避難訓練の実施状況は。

町長 コロナ禍前と比較すると低調ではあるが、感染防止を図りながら避難訓練、情報伝達訓練を可能な範囲で実施している。

問 議会会期中に災害が発生した場合、町の対応は。

町長 町においては、災害対策本部を設置し、応急対応にあたるため、議会運営委員会と協議しながら調整を図る必要がある。

問 庁舎敷地内に設置予定の防災倉庫の活用は。

町長 再編関連訓練移転等交付金を活用し、今年度、機能別に



防災倉庫の建設予定地

5棟の防災備蓄倉庫を設置予定。水や食糧のほか、発電機など必要な資機材等を備蓄保管し、迅速に対応していく。

問 町民に対し避難時の防災用品を配布する考えはないのか。
町長 防災グッズを配布することもあるが、平時から防災用品の備えをしていただくよう啓発に努める。

「おとみちゃん」について

問 新富町公式キャラクター「おとみちゃん」の活用状況と町民への浸透度は。

町長 新型コロナウイルス感染拡大状況下でも、各種イベントに30回参加している。またSNSなどでも情報発信しており、知名度は高まっている。

問 町民や町外の人が活用する場合の規定については。

町長 規定等は特に作っていないが、こゆ財団および総合政策課で判断している。

問 今後の運用方法および計画については。

町長 交付金事業は今年度までとなっているが、次年度以降の運用を、こゆ財団で準備する方針である。



農業収入保険制度について



不測の事態に備え、保険に加入を

問 農業収入保険制度への加入者数は。

町長 対象農業者244件のうち102件が加入しており、加入率は41・8%である。

問 最終加入率の目標は。

町長 加入要件である青色申告者を増やすとともに、加入率50%を目標にする。

問 掛け金に対する補助は、いつまで行う考えか。

町長 令和6年度まで、3年間を予定している。



しもむら ゆたか
下村 豊 議員

町長

ワクチン接種 後遺症の対応は

県内4病院を相談窓口

問 新型コロナウイルス対策。
①感染症予防法の2類から5類への変更見通し②ワクチン接種後の副反応や後遺症への対応は。

町長 ①国の有識者会議で検討中である。②厚労省科学審議会への報告数はごくわずかである。

問 厚労省から都道府県に対し、後遺症等の相談窓口設置の要請が3月24日付けで通知されているが。

保健相談センター 所長 まずは、かかりつけ医に相談していただき、それでも不安な場合は、かかりつけ医が県に相談し、4つの医療機関へ受診調整を行う。それでも対応困難な場

合は、宮崎大学医学部付属病院が専門的な医療機関として対応することになっている。



家庭内廃棄物の集積場所

地区外者のゴミ出し場所は

問 地区外者のごみ出し場所の指定はどのように。

町長 地区外者のごみ出し指定場所は、世帯数や設置場所、管理者の確保等課題があり今後検討する。

問 地区外者の氏名、住所、電話番号を管理者通知して、地区等の指定場所に出せるようにしてはどうか。

町長 申請制度ができるように検討していきたい。

富田浜公園の整備構想は

問 以前の質問で、富田浜公園の整備は全体的な構想を作成するとの答弁があった。進捗状況は。

町長 地方創生推進交付金事業の中で、同公園を中心とした活用構想を今年度までに計画できるよう準備している。国体の会場となるので県から方針が示されると思う。



広場はヴィアマテラス宮崎のホームグラウンドとして活用中

新田原基地、騒音対策は

問 今年度から開始された告示後住宅の防音工事について、申込状況と防音工事の実行可能性は。

町長 令和4年度の防音工事希望届受理件数が約170世帯、うち告示後住宅が約150世帯であった。告示後住宅は約20世帯へ申込書を配布予定と聞いている。引き続き、国には速やかに防音工事ができるよう対応をお願いしている。

問 新田原基地北西部設置の防音堤の効果調査は。

町長 九州防衛局から6月1日に騒音測定を実施したとの連絡を受けた。

弾道ミサイル住民防護は

問 住民防護は地方自治体の責任。まず弾道ミサイル防護の勉強会をしてはどうか。

町長 認識を深めるため有意義であると思う。



こやま ひろのり 議員
小山早苗議員

町長

ジェンダー平等社会の
実現を目指して

個々人がそれぞれ活躍できる
環境を作っていくことが重要

問 男女共同参画について町長の考えは。

町長 これからの社会でも男女の違いや障害の有無などによる不当な差別をなくして、個々人がそれぞれ活躍できる環境を作っていくことが重要。そのためにも実効性のある計画となるようにアンケートなどによる状況把握や、懇話会での意見聴取に努めていきたいと考える。

問 「男女共同参画計画」推進における本町の取り組みは。

町長 第2次計画の基本目標の1から5に沿って実行している。具体的には職員や各種委員会組織における女性の登用や参画を促すこと、防災など

を中心に女性の社会参画を求めたこと、子育て講座や男性の料理教室の開催など町民の意識啓発を進めている。



誰一人置き去りにしない
避難体制について

問 避難行動要支援者の避難支援に係る自主防災組織の考え方と設置状況は。

町長 災害発生時においては、地域住民一人一人が協力・連

携し、自分たちの地域は自分自主防災組織の結成を地区単位で推進している。令和4年4月1日現在で62地区のうち38地区が結成し自主防災活動に取り組んでいる。

問 個別避難計画に伴う避難行動要支援者の名簿作成状況と今後の取り組みは。

町長 昨年度末現在、名簿に登録された要支援者は429人、そのうち個人情報提供に同意された方は190人。要支援者の情報の定期更新を図り、対象者の適時的確な把握に努めていく。また、個人情報の提供に意思表示をされていない約半数の方に、再度回答を促していきたい。今後は、個人情報の提供に同意いただいた方について、地区や自主防災組織など避難支援等関係者と調整を行い、災害時に必要な支援を行うための個別支援計画の作成をすすめていく。

コロナ禍における新しい時代
の子どもの生活について

問 今後のマスク着用の判断について。

教育長 現在、国や県から「マスク着用の考え方」について公表されており、夏場は熱中症対策など各自の体調や体質を優先し、状況に応じてマスクを外しても構わない旨が示されている。本町もそれに準じた判断をしている。

問 コロナ禍における夏休みのプール開放について。

教育長 コロナ禍に限らず、夏休みの学校のプール開放は、今後も難しいと考える。管理人員の確保やプール内での安全対策など様々な課題がある。



プール遊びは
夏休みの醍醐味

令和4年6月定例会 議案等の審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第25号	令和4年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第26号	令和4年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第27号	令和4年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第28号	令和4年度新富町水道事業会計補正予算	可決	全員
議案第29号	新富町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第30号	新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第31号	工事請負契約の締結について(令和4年度富田小学校校舎防音機能復旧(空機調和設備取替)工事)	可決	全員
議案第32号	物品売買契約の締結について(令和4年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業小型動力ポンプ積載車更新)	可決	全員
議案第33号	令和4年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
承認第12号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
同意案第2号	監査委員の選任について	同意	全員
報告第3号	令和3年度新富町継続費繰越計算書について(新富町一般会計)	—	—
報告第4号	令和3年度新富町繰越明許費繰越計算書について(新富町一般会計)	—	—
報告第5号	令和3年度新富町事故繰越し繰越計算書について(新富町一般会計)	—	—
報告第6号	令和3年度新富町水道事業会計継続費繰越計算書について	—	—
提出	令和3年度一般財団法人こゆ地域づくり推進機構の決算に関する書類の提出について	—	—
提出	令和4年度一般財団法人こゆ地域づくり推進機構の事業計画書及び収支予算書の提出について	—	—
提出	令和3年度一般社団法人ニューアグリベースの決算に関する書類の提出について	—	—
提出	令和4年度一般社団法人ニューアグリベースの事業計画書及び収支予算書の提出について	—	—
提出	令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価等報告書の提出について	—	—
請願第1号	「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める請願	採択	全員
発議第2号	路線バスの持続可能な運行に関する意見書	可決	全員
発議第3号	水田活用の直接支払交付金の見直しを中止し、農家経営支援強化を求める意見書	可決	全員

※前号(115号)の令和4年3月定例会議案一覧の中で、発議第1号の記載が漏れていましたので、今回号でお知らせいたします。

発議第1号	ロシアによるウクライナ侵略に強く抗議する決議について	可決	全員
-------	----------------------------	----	----

委員会報告

基地対策特別委員会

令和4年6月28日～29日

石川県小松市視察

小松市には、航空自衛隊小松基地があり、新田原基地と同じF15戦闘機を運用しています。その小松基地は、2025年度にステルス戦闘機F35Aを4機配備予定で2028年度までにF15戦闘機と順次入れ替える形で最終的に20機体制になる見通しとなっています。

また新田原基地においても国は、ステルス戦闘機F35Bを配備する方針を示しており、配備計画によると2024年度に6機、2025年度に2機と順次配備するとされています。

新田原基地と共通点の多い小松基地を抱える小松市を訪問し、F35A配備了承までの経緯や、住民の反応、また騒音問題や防音工事の状況など、我が町の状況と重ね合わせながら意見交換をさせていただきました。

その後、防衛関連の補助金を利用した施設を見学。最後に小松基地に訪問し、運用状況などの説明を受けました。



改修費用に防衛関連補助金を利用
こまつドーム（生涯学習センター）



小松市議会との意見交換（小松市役所）



要望書を手渡す委員長
（熊本防衛支局）

**令和4年6月27日 要望活動
九州防衛局・熊本防衛支局**
今年も、毎年続けている要望活動を行いました。九州防衛局では、今後の騒音コンター見直しや、外郭防音工事の対象範囲の拡大、日米共同訓練に関する対応などを要望。熊本防衛支局では、基地関連事業の入札、町内事業者の受注機会の確保、基地周辺財産の管理など、引き続き要望しました。



根気強く要望していきます
（九州防衛局）

特集「屋外運動場建設工事」



事業費は **16 億 1,421 万 5 千円**

(このうち 10 億 7,614 万 3 千円が防衛省補助金として交付されます)



屋外運動場って、なにができるの？

サッカー場（人工芝：2面）ができます。他に管理棟、屋外トイレ、駐車場等を整備します。



サッカースタジアムがあるのに、またサッカー場をつくるの？

ユニリーバスタジアム新富と異なり、主としてアマチュアサッカー競技として活用される計画です。令和9年度に開催予定の国民スポーツ祭宮崎大会の少年サッカー競技の会場としても活用される予定です。



サッカー以外には使えないの？

運営にあたっては、「町民の日」を設けるなど、サッカー以外の利用もできるよう工夫していく予定です。



町営の施設になるの？

町の施設ですが、指定管理者として宮崎県サッカー協会が管理・運営するよう協議を進めています。



この施設の運用開始により、宮崎県内のサッカー競技を行うプロもアマチュアも、新富町を中心に大会や合宿を開催するようになります。また北側に設置予定の農畜産物直売所等とともに町外からの集客のための中核施設となることが期待されます。

特集「デジタル社会に向けて」



タブレット本体、システム操作の勉強会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からデジタル化が加速。国はデジタル庁を創設し、国全体のデジタル化を主導するとしています。新富町議会でもデジタル化を進め、議案書等の電子化、タブレット端末の導入、ペーパーレス会議などSDGsを見据えた取り組みを始めました。

タブレット端末とペーパーレス会議システムを導入することにより、事務局や議員間でのやり取りや、資料の提供、会議等もペーパーレスで行えます。使い方は無限大で、今後は更なる取り組みを進めていきます。

※当面は、紙での資料と併用して使用します。

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用しています



小松市での視察研修
資料閲覧や説明にはタブレット端末が使われていた



導入したタブレット端末(キーボード付き)
膨大な資料がこれ1台に

町民インタビュー Vol.12

聞かせて！あなたの未来
「楽しく学ぶ」をモットーに生涯学習に挑戦中！

太極拳指導者の大神憲子さん



大神憲子さんの横顔

1938年福岡県生まれ。1970年に、ご主人の転勤で新富町へ。新田地区に住んで二人の子どもの育児をしながら、テレビキャスターなど様々な仕事にチャレンジされてきました。退職後は女性としてのスキルアップも怠らず“楽しく学び、学びながら生きる”を心情に、すべての人に開かれた放送大学で今も学び続けています。

MRTラジオ「暮らしのリーダー」でデビュー。子育て世代を応援するテレビ番組「母と子の手帳」では子育て中の大神さんが抜擢され、同じ目線で寄り添う司会が好評でした。新富町内行事などの司会、音声ボランティアのメンバーとしても声を活かした活動をされています。

テレビ出演時の映像です→



40代に始めたテニスのプレー中のケガで網膜剥離となり、目が悪くてもできるスポーツとして50代で太極拳を始めました。本場中国でも学び、指導者の資格を取得。現在は太極拳の魅力を後世に伝えるため普及活動を行っています。

←本場中国で太極拳の指導を受けました

編集後記

今年の梅雨は、例年になく早さで明けました。しかし早速、日本付近で台風が発生。直撃はなかったものの、雨雲が九州にかかり大雨が降りました。

豪雨災害は各地で起こっており、過去に甚大な被害をもたらした豪雨災害は7月に集中しています。

九州でも平成29年九州北部豪雨、平成30年西日本豪雨、令和元年九州南部大雨と毎年のように豪雨災害が起こり、多くの犠牲者を出しました。

これからが台風、大雨の季節です。いま一度、避難経路や避難場所などの確認をお願いします。

つづき

議会広報特別委員会

委員長 石崎 俊二
副委員長 小山 早苗
委員 松浦 美緒
出口 喜重郎
大木 俊二
吉田 憲市

【連絡先】議会事務局

☎33-6139